

○：インバウンド（外国人旅行者）を受入れ体制を整える動きを十日町市が加速させている。先月の8カ国17人を招いた清津峡モニターツアーに続き、日本旅行記ブログ更新で読者70万人余の台湾ナンバー1ブロガー・林氏璧さんが29、31日に来市。ベルナティオや松代・芝峠、松之山温泉など探訪。その場ですぐSNSのフェイスブックなど更新し、雪国を世界発信した。

○：台湾を始め、中国や韓国など中華圏では日本の雪観光志向が上昇。今回の林氏来訪は、昨年末にトオコン本選会出場のジャパンコンシェルジュ（柳川直隆社長、新宿区）が同市「豪雪体感インバウンド観光商品開発等総合支援事業」を活用

中華圏に「雪」を積極アピール

台湾の人気ブロガー・林氏璧が来市

トオコンのジャパンコンシェルジュ企画



「第12回城下町しばた全国雑煮合戦」が先月10日、新発田市で開催され、十日町商工会議所青年部の食業拡大プロジェクト

如月の表情

鬼はくそと

交通事故鬼を撃退

○：「交通事故の鬼や酒運転の鬼を撃退だ」。千手温泉・千年の湯で3日、節分の豆まきに合わせ十日町地区交通安全協会と十日町警察署などが合同で「真冬の交通安全啓発活動」を行った。会場には高齢者らの入湯客らが集まり、「交通事故の鬼は出て行け」と豆まきで撃退。「交通事故を起さない、遭わないよう



雪原散策する読者70万人の台湾ブロガー・林氏璧（左から2番目）（30日、芝峠で）

し企画。同社は創業や新分野進出を図る企業をサポートするクロス10内貸スペース「インキューベーションオフィス」に入居。中華圏からのインバウンド増を図る。柳川社長（46）は「十日町を海外に発信したい。雪の観光誘客の可能性は充分あ

る。台湾や香港、シンガポールを中心に情報発信する」と意欲を話す。

○：林さんは妻と6歳と8歳の娘と共に来市。芝峠ではキャンプ場管理棟付近でスノーシュー体験。刈羽黒姫山や八石山が一望でき、誰も踏みたくない雪原を散策。林さんは十日町の可能性を「北海道の雪は有名だ

全国雑煮合戦で3位

十日町商工会議所青年部



岡元社長（右）

「第12回城下町しばた全国雑煮合戦」が先月10日、新発田市で開催され、十日町商工会議所青年部の食業拡大プロジェクト

開催当日の青年部のテントには行列ができ、十日町から応援に駆けつけた人や、新潟市内の十日町出身者も来場。「味は一番だ」と評判は上々で、持参のタッパ



十日町産の食材で作られた角煮雑煮

有志が出店。11回目の挑戦で「妻有ポークの角煮雑煮・十日町産きのこ＆野菜入り」が見事3位に輝いた。

開催当日の青年部のテントには行列ができ、十日町から応援に駆けつけた人や、新潟市内の十日町出身者も来場。「味は一番だ」と評判は上々で、持参のタッパ

の日用意した440食は2時間半程で完売。リーダーの上原勇一さん（レストランサバス）は

「十日町産の食材をアピールしよう」と、温泉トラフグ雑煮も試作して食べ比べ角煮に決めた。来場者に好評でうれしい限り。料理人だけではなくそれぞれが得意分野でPRしてくれ、会員同士の結束につながった」と笑顔で話していた。

が、台湾からは遠いし宿泊代も高い。十日町は東京に近く、新幹線で来れる便利な点がある」と評す。一方、近隣の湯沢町などには多くの中華圏旅行者が来ているのをあげ「十日町を知る人は少ないが、すぐ近くまで旅行者は来ている。どんなことができるか発信すれば興味を持つ人がおり、滞在を伸ばし訪れる人もいるだろう」と指摘。さらに市内での外国人向けトラベルインフォメーション開設、越後湯沢駅からの移動手段確保、さらに越後水沢駅にある台湾の人気絵本作家ジミー・リヤオ氏の大地の芸術祭作品アピールなど提言した。

みだわ 地元

昨年4月に着工した日町市新座地内の山線下を流れる、の拡幅や、線路路等が昨年11月29日たことに伴い先「みだわ川飯山山水路改修工事」完成祝賀会」が割烹志保川で行われ、近隣2町内会や関口市長、十日町地域振興局、JR信越工務事務所など関係者が集まり完成を祝った。

きもの総合加工・きものブレイン（岡元松男社長・従業員273人）は先月28日、世界初となる新しい絹で自社発展からなるまでの25回の拾得で済

現場は国道117号線跨線橋の東側で、鉄橋下は川幅が狭くなっており、大雨や雪処理で詰まるたびに住宅や線路などに浸水、冠

町市の半分、4.5%の減少に留ま

ま

た

を伸ばし訪れる人も